

1 学校名・学年	美作市立英田中学校 全学年
----------	---------------

2 カリキュラム開発の基本的な考え

就学前から小さな同一集団で生活している生徒は、互いの生活環境などもよく知っており仲も良いが、人間関係が固定化する傾向にあり、多様な人間関係を築きにくい。

そこで、運動会に向けた学年縦割りの異年齢集団での活動を通して、普段の生活の中では見えにくい友達のすばらしさや自分の身の回りにある人権に関する課題に気付かせたい。また、運動会優勝という同じ目標に向かって一人ひとりがやりがいを持って活動し、共に認め合う中で所属感や自尊感情を高めることができるようにする。

3 実践の概要

(1)単元の全体構想(単元名、ねらい、構想、指導計画、評価)

単元名

・「人間関係づくり」

ねらい

・目標達成に向けて、連帯感を養う。

・人には様々な見方や考え方があることを知る。

・友達のすばらしさや人権に関する課題について気付く。

構想、指導計画、評価

出会う (2時間)	認め合う (25時間)	見つめる (3時間)
<ul style="list-style-type: none"> ・運動会実行委員会結成 ・組み分け【評価】 	<ul style="list-style-type: none"> ・色別会議【評価】 ・球技大会 ・運動会に向けての準備、練習【評価】 ・運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の反省【評価】 ・人間関係づくりワークショップ【評価】

(2)活動の実際(学習活動〔体験活動・交流活動の様子を含む〕、評価)

時数	学習活動	教師の支援	評価
2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで話し合う。 ・運動会実行委員を選出する。 ・スローガンについて考える。 ・実行委員会で考えた組み分け案やスローガン案について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の色別担当を決める。 ・自分勝手な考えではなく、みんなが納得できる組み分けを、生徒自らが考え実行できるよう援助する。 	<p>協力して活動できたか。</p>
25	<ul style="list-style-type: none"> ・色別会議 ・役割分担や今後の活動計画について話し合う。 ・計画にそって、準備や練習に取り組む。 <p>運動会に、全力で取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題が生じたときはリーダーを中心に、生徒たちで解決できるように見守り、必要に応じてアドバイスする。 ・意見の違いを大切に、合意形成のできるよう援助する。 ・結果よりも、当日までの取り組みを評価する。 	<p>自分の意見を主張したり、相手の意見を聞いたりして、互いの意見の違いを認め合うことができたか。</p> <p>全力を尽くし、達成感を得たか。</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の反省をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの変化をプラスの面から評価させる。 	<p>真剣に自己を振り返ることができたか。</p>

2	<p>生徒会ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイを見て、日ごろの友達への言葉がけにいて振り返る。 ・班ごとに、「人間関係をつくる言葉と壊す言葉」を、班ごとにできるだけ多く出し合い、発表する。 <p>・感想を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が分かりやすいように、道具やワークシートを準備する。 ・全ての意見を大切にし、書き出させる。 ・必要に応じて助言し、全員が活動できるように留意する。 ・静かに活動を振り返られるようにする。 	<p>冷やかしたりしないで真剣に見ているか。</p> <p>温かい言葉がけについて考えることができたか。</p> <p>一人ひとりの意見を大切にできたか。</p> <p>活動を振り返り、今後の生活に生かそうとしているか。</p>
---	--	--	--

4 成果と課題

(1)成果

- ・3年生を中心に主体的な活動することで大きな達成感を味わい、自尊感情を高めることができた。
- ・他学年と同じ目標を持ち長時間過ごす中で、合意形成のために必要なコミュニケーション能力を高めることができた。
- ・友達の心ない言葉で傷つけ合うことがあったことなどから、2学期末に生徒会主催で「人間関係をつくる言葉、壊す言葉」についてワークショップを開き、温かい人間関係を築くための言葉の大切さを理解することができた。
- ・ワークショップを開催するに当たり、本事業で購入した図書が参考になり、有効に活用することができた。

(2)課題

- ・当初予定していた構成的グループエンカウンターについての職員研修がもてなかった。教職員の人間関係づくりの実践力を高めるためにも、研修の場を設けていきたい。
- ・生徒会が主催した人間関係づくりのワークショップが、その場限りのものとならないよう継続していきたい。そのための計画作りが必要である。